

キャリア支援室（Career Services Office）活動報告

国際教育交流センターアドバイジング部門キャリア支援室
坂井 伸彰・大河内 薫子・大場 結香・安部 伸子

1. はじめに

国際教育交流センター・アドバイジング部門キャリア支援室における平成29年度の活動を、「個別相談」、「教育プログラム」、「社会連携」、「学内連携」に分けて紹介し、最後に次年度の実践に対する課題や展望を「まとめ」として報告する。

2. 個別相談

平成29年度の相談件数は計464件（来室学生数：計143名）であった（窓口，メール，電話での対応は，本件数には含まず）。当室の個別相談は事前予約制で，1回あたり1時間程度の対面による面談（キャリアカウンセリング）を行なうようにしている。就職・キャリア支援に関するカウンセリングは，一般（日本人）学生の場合，20～30分を制限時間とする場合が多いが，外国人留学生の場合，彼らの母語ではない日本語又は英語で相談に訪れるため，相談時間を長めに設定するよう運用している。相談内容は，主に「書類（エントリーシートや履歴書等）確認」，「面接試験に関する相談」等，日本での就職活動に関するコンサルテーションが中心である（参照：表1）。

また，今年度より新たな取組みとして，入学オリエンテーションに出席する全新入外国人留学生に対し，キャリア形成に関する相談希望の有無を尋ね，希望者との個別相談にも応じた。

3. 教育プログラム

表2は，平成29年度に当室が主催した名古屋大学の留学生を対象としたキャリア支援に関する取組みである。その中でも特筆すべき内容について，以下のとおり紹介する。

〈留学生のための就職・キャリア支援プログラム〉

次年度に日本での就職活動を控えた学部3年生及び修士1年生を対象としたワークショップを，10月から1月にかけて全12回実施し，延べ445名が参加した。初回のオリエンテーションで日本の雇用習慣を解説し，第2回目では学部4年生及び修士2年生で日本企業に就職予定の「先輩」5名を囲んだ“座談会”を実施した。その上で職業選択上必要となる自己理解・職業理解の進め方について，参加する留学生同士が交流を深めながら学べるようなワークショップを計10コマ行った。

表1. 平成29年度 国際教育交流センター・キャリア支援室 相談件数

1位	書類（ES，履歴書等）添削	183件
2位	面接対策	107件
3位	今後の就活の進め方（就活開始後）	65件
4位	進路相談（卒業後のキャリア全般に関する相談。主に就職活動を実施する前の学部3年生以下及び修士1年生が対象。）	51件
5位	インターンシップ相談	29件
6位	内定報告	11件
7位	その他	9件
8位	内定辞退（オワハラ相談含む）	5件
9位	アルバイト相談	3件
10位	内定後の懸念事項（住まい・ビザ・内定先との連絡等）	1件
	合計	464件

表2. 平成29年度 キャリア支援室主催 教育プログラム一覧

事業名	実施日	項目	内容	人数
留学生のための 就職・キャリア支援プログラム 2017年10月～2018年1月 毎週木曜日（計12回） 延べ 445名	平成29年10月12日（木）	オリエンテーション	就活の進め方やスケジュールに関する情報共有	44名
	平成29年10月19日（木）	内定者座談会	留学生の先輩から就職活動の進め方を学ぶ	48名
	平成29年10月26日（木）	自己理解・職業理解講座第1回目	留学生の方によく聞かれる企業側の質問を元に、自らの「ありたい姿」を考える	39名
	平成29年11月2日（木）	自己分析・職業理解講座第2回目 ～過去分析編～	自己分析講座：自己分析とは何か学び、自分のライフイベントを分析し価値観や将来のキャリア観を掘り下げる。過去と将来を分析し、学生時代に頑張ったこと、自己PR、やりたいことを考える。就活の軸について考える。	41名
	平成29年11月9日（木）	自己分析・職業理解講座第3回目 ～将来分析編～		43名
	平成29年11月16日（木）	自己分析・職業理解講座第3回目 -就活の軸について-	職業理解講座：各業界の成り立ちや最新動向、業界・企業分析について学ぶ、企業が留学生に求めるものについて考える。	55名
	平成29年11月30日（木）	自己分析・職業理解講座第5回目 -企業分析について-		34名
	平成29年12月7日（木）	就活実践対策講座 -ES対策-	具体的な作成方法や大切なポイントを、実例を交えて学ぶ	35名
	平成29年12月14日（木）	就活実践対策講座 -SPI対策-	SPI（筆記試験・Web試験）とは何か、どのように対策をするのかを学ぶ	35名
	平成29年12月21日（木）	就活実践対策講座 -面接対策-	集団（グループ）面接及び個別面接への対策を知る	34名
	平成30年1月11日（木）	就活実践対策講座 -グループディスカッション対策-	グループディスカッションの評価ポイントや対策方法を学ぶ	34名
	平成30年1月18日（木）	就活実践対策講座 -求人票の読み方講座-	行政書士の方をゲスト講師に招き、求人票の読み方について学ぶ	23名
	留学生のための業界理解講座	平成29年12月15日（木）	第1回 留学生のための業界理解講座	主要業界について理解を深める講座（協力企業：日本IBM株式会社、株式会社大和総研、オリックス株式会社）
平成30年1月15日（月）		第2回 留学生のための業界理解講座	主要業界について理解を深める講座（協力企業：住友電工株式会社、株式会社本多技術研究所、セブティニーホールディングス株式会社、ハウス食品株式会社）	40名
企業交流会	平成30年1月25日（木）	留学生×中部経済同友会 意見交換&懇談会	中部同友会加盟企業関係者（50名）が留学生と交流を図り、日本での就職や企業文化に対する理解を深める	43名
留学生のための Job Fair	平成30年2月8日（木）	Job Fair 事前講座	交流会に臨む心構えを知る	30名
	平成30年2月9日（金）	Job Fair	留学生と出展企業との交流会	82名
就職体験プログラム （バスツアー）	平成29年11月23日（木）	株式会社 JTEKT 刈谷工場 見学	日本の職場を体験し、外国人社員との交流等を通じて、自身のキャリア形成や今後の就職活動に役立てる	23名
	平成30年2月14日（水）	中部国際空港株式会社 見学		19名
	平成30年2月26日（月）	株式会社メイトー三好工場・新明工業株式会社本社工場 見学		9名
マナー講座	平成30年2月28日（木）	日本型ビジネス コミュニケーションの 特徴について	日本型コミュニケーションの特徴を紹介。日本の職場環境特有のルールやビジネスマナーを学ぶ	19名
	平成30年3月9日（金）	プロから学ぶアナウンス講座	面接やプレゼンに自信を持って臨めるよう日本語の正しい発声法や伝え方を学ぶ	22名
インターンシップ	平成29年5月11日（木）	夏季 外国人留学生 インターンシップ説明会	愛知県政策企画局国際課によるインターンシッププログラムの説明会	22名
	平成29年5月24日（水）	名大留学生対象 インターンシップ説明会	キャリア支援室による名大生を対象としたインターンシッププログラムの説明会	20名
	平成29年11月9日（木）	春季 外国人留学生 インターンシップ説明会	名古屋外国人雇用サービスセンターによるインターンシッププログラムの説明会	18名
就活ランチ交流会	平成29年5月23日（火）		就職活動中の学部4年生・M2を対象としたグループカウンセリング	7名
	平成29年6月6日（火）			6名
G30正課授業「Introduction to Career Development Theory」	平成29年10月～ （計15コマ）		キャリア理論、問題解決の方法論に関する講義	履修者 10名



写真1：「留学生のための就職・キャリア支援プログラム」の様子

〈留学生のための業界理解講座〉

本講座は、留学生を積極的に採用する企業（計7社）の人事担当者より協力を得て、各主要業界の成り立ちを留学生が理解するための講座を合計2回実施した（第1回：平成29年12月15日実施／協力企業：協力企業：日本IBM株式会社，株式会社大和総研，オリックス株式会社，第2回：平成30年1月15日実施／協力企業：住友電工株式会社，株式会社本田技術研究所，セプティニホールディングス株式会社，ハウス食品株式会社）。各業界の最新動向を、日本や世界経済の情勢、技術トレンド等を踏まえ、留学生の理解が深まることを目的とした。



写真2：「留学生のための業界理解講座」の様子

〈留学生×中部経済同友会交流会〉

外国人留学生と日本企業との交流を促進する取り組みとして、中部経済同友会と連携し、外国籍社員（元外国人留学生）5名を招いたパネルディスカッションを

行った。そして、そのパネルディスカッションの直後に、22社の同会加盟企業関係者（主に企業経営者）40名及び15カ国の外国人留学生50名弱が1グループあたり10名前後のグループに分かれ、「日本で働くとは？」をテーマに討議を行うワークショップを、原田(2016)の取組みを参考に実施した。本実践では、外国人留学生には、元留学生の先輩や日本企業に勤務するビジネスパーソンとの交流を通じ、日本企業での就職に対する不安を軽減し、そしてその疑問を少しでも解消することを目標と定めた。また、同友会企業関係者には、日本企業がグローバル化やダイバーシティを推進する際に、外国籍社員の採用及び登用は企業戦略上、一考に値することを再認識して貰うことを目指し、本実践を行った。



写真3：「留学生×中部経済同友会交流会」の様子

〈留学生のためのJob Fair〉

外国人留学生を積極的に採用している33社の企業を学内に招き、留学生と直接交流する「Job Fair」を実施し、82名の留学生が参加した（実施日：平成30年2月9日）。就職活動広報解禁日前での実施のため、企業側には学生には個人情報の収集を行わないよう要請し、学生にはスーツ着用を不要として参加を呼び掛けた。また、本行事の開催に先立ち、実施日前日に「Job Fair 事前講座」を実施し、Job Fair 当日に各企業ブースを効率良く巡るためのレクチャーを行ったところ、30名の留学生が参加した。



写真4：「留学生のための Job Fair」の様子

〈就職体験プログラム（バスツアー）〉

日本の職場を体験し、外国人社員との交流等を通じて、自身のキャリア形成や今後の就職活動に役立てることを目的として、本年度は計3回実施した（第1回目「株式会社JTEKT刈谷工場見学会」平成29年11月23日実施、第2回目「中部国際空港株式会社見学会」平成30年2月14日実施、第3回目「株式会社メイドー三好工場・新明工業株式会社本社工場見学会」平成30年2月26日実施）。特に第2回目に実施した「中部国際空港株式会社見学会」では、同社の施設見学後に、本学を卒業した元留学生をはじめとした外国籍社員5名との座談会が行われ、中部国際空港での仕事や日本でのキャリア形成について、元留学生と現役留学生が活発に意見を交わした。また、当日は、友添代表取締役もディスカッションに参加下さり、企業人から見た留学生への期待や激励を頂き、留学生には大変有意義な機会となった。



写真5：「中部国際空港株式会社見学会」の様子

〈正課授業「Introduction to Career Development Theory」〉

G30学生対象文系教養科目として後期に開講している「Introduction to Career Development Theory」（2単位、使用言語：英語）を、工学部西山講師と共に担当した。履修者10名に対し、日本を含めた各国の雇用文化、各種キャリア理論に加え、問題解決の方法論に関する講義を行った。

4. 社会連携

〈企業等来訪対応〉

東海地区を中心とした企業及び公共団体への訪問及び来訪対応を、延べ128件行なった。留学生の採用に加え、外国人材の社内での育成に関する相談や問い合わせが相次いだ。昨今の人材難や留学生をはじめ、高度外国人材への注目が集まった結果、企業からの来訪が昨年度と比べ大幅に増えた。

〈大学間連携〉・7大学就職支援担当者による研究会への参画

平成29年度国際機構プロジェクト事業の助成を受け、国際教養大学、早稲田大学、一橋大学、日本女子大学、同志社大学、大阪大学及び名古屋大学の就職支援に携わる教職員による研究会に計2回参加し、留学生や留学経験を持つ一般学生などの国際学生に対する就職支援のあり方について情報を共有した（学生相談総合センター就職相談部門及び学生支援課就職支援室員の教職員と交代して参加）。また、国立大学就職キャリア支援担当教職員研修会（平成29年10月30日）に、北陸・東海地区代表幹事として、参加した。

5. 学内連携

〈就職支援室等との連携〉

学生相談総合センター就職相談部門及び学生支援課就職支援室員毎週月曜日に実施する定例会に、昨年度に引き続き当室員も参加し、就職支援に関する各種教育プログラム、学生相談、企業来訪対応等、適宜情報の共有を行った。

6. まとめ

平成29年6月に、文部科学省委託事業「留学生就職促進プログラム」に、本学が機関校として採択された。同委託事業の目的に賛同した、大学（岐阜大学、名古屋工業大学、名城大学）、公共機関（愛知県、岐阜県、JETRO 名古屋）、経済団体（愛知県経営者協会、岐阜県経営者協会、中部経済同友会、中部経済連合会）が連携し、留学生の国内での就職を支援することを目的とした「愛岐留学生就職支援コンソーシアム」を同年9月に設立した。上述の教育プログラムは、本委託事業の一環として運営することができ、各種活動の強化・

拡充を図ることができた。今後も、同コンソーシアムの活動を通じ、留学生と地域企業との接点を創出し、就職機会の拡大を図り、地域経済の活性化や国際化の進展に貢献したい。

参考文献

原田麻里子（2016）「留学生が「日本で働くということ」を考える ―企業人事との連携によるセミナーの事例から―」, 留学生教育学会第21回 JAISE 年次大会 予稿集, pp.49-50